

⑧乳の井

「乳の井」は乳井村の村名の「起源」になっています。「乳の井」の水はその字のとおり、白くにゴッていたとされ、乳を病む女性、乳の出ない女性は毘沙門天に参詣し、その井の水を飲めば御利益があるとして、往昔から多くの女性の信仰を集めました。今は枯渇しています。

【乳の井】



⑨五輪塔・板碑

五輪塔は鎌倉時代のものでとされます。地・水・火は同時代のもののようですが、風・空は後に据えられたもののようです。

板碑も同時代のものとされています。
(市指定有形文化財)

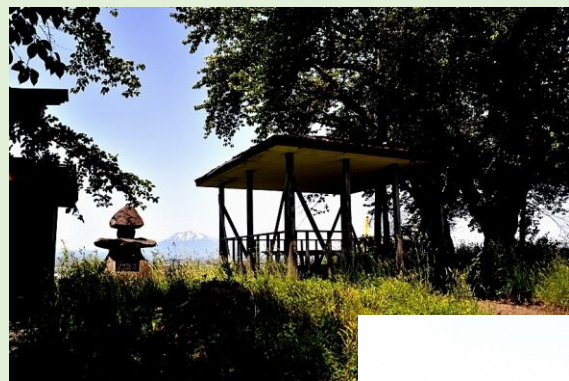
【五輪塔・板碑】



⑩乳井古館跡（壬公園）

乳井古館跡は壬（みずのえ）館跡とも称されます。戦国時代にこの地を治めた乳井福王寺玄蕃の居城であったが、その後乳井城へ移ったとされます。現在ここは公園として整備され、晴れた日には岩木山と津軽の古戦場が一望できます。

【乳井古館跡】



上の写真は壬公園より岩木山を写した写真です。右の写真は麓からの撮影で、今はりんご園になっているが、腰曲輪の形状が解り、昔の山城の様子を今に伝えています。



⑪木ノ宮愛宕神社

木ノ宮堂は乳井村和山集落で県道から「壬公園」(乳井古館)へ登る緩斜面道の中腹にある小社で、通称は木ノ宮堂(きめいどう)または愛宕様とも呼びます。愛宕様は往古乳井毘沙門堂(現乳井神社)境内の、天狗平山と峰続きの愛宕山に祀ってあったものを、和山集落の大杉の根元に移し木ノ宮堂と呼んだとされます。

【木ノ宮愛宕神社】



⑫南蔵坊祀堂

伝承によると、延暦年間(782~806年)の坂上田村麻呂の征夷に際し、古堂(乳井字古堂)の地に毘沙門天を勧請したのが、南蔵坊という僧であったとされます。この堂がその後、現在地(乳井字外の沢)に移り、乳井福王寺(現乳井神社)となったとされます。

「南蔵坊」は乳井村の古代史を飾る第一人者であり、米作を教え信仰を通じて文化の曙光を与えたとされます。なお、南蔵坊の祀堂は南蔵坊の住居跡とされます。

【南蔵坊祀堂】



※この「歴史の径散歩コース」の内容は、新編弘前市史資料編1(古代・中世編)と、伊藤勇蔵氏著「乳の井」を主に、参考にさせて戴きました。

歴史の径散歩コース

企画・編集：成田元春 木村英丸

連絡先：乳井町会長 成田元春

036-8122 弘前市大字乳井字外の沢70番地6

☎0172-92-3838

協力：弘前市教育委員会文化財課

☎0172-82-1642

歴史の径散歩コース

弘前市乳井地区

【乳井神社(乳井福王寺)】



乳井地区の歴史は古く、鎌倉時代には既に栄えており、現在も多くの遺産が残されています。今回はその歴史遺産を、「歴史の径散歩コース」と題して、皆さまに広く紹介するものです。乳井地区の歴史を知って戴き、同時に健康に留意しながら、散歩を楽しんで下さい。

【板碑】



【五輪塔・板碑】



この地区で特に目を惹くのが、五輪塔や、板碑です。共に鎌倉時代から南北朝時代のものとされ、大きさ、数、共に見応えの有るものです。散歩コースに含まれておりますので、じっくり見て楽しんで戴きたいと思います。

【古館跡・乳井神社】



【茶臼館跡】



神社・連絡先：乳井神社 宮司 山田伴国
036-8122 弘前市大字乳井字外の沢67番地3
☎090-3124-8813

歴史の径散歩コースの紹介

①大鳥居

乳井神社には石造りの大鳥居、片側だけの石造りの鳥居と、境内に木の鳥居が1基あります。

【大鳥居】

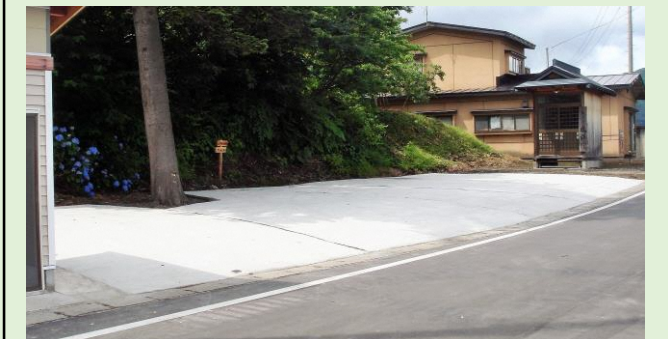


②盛祥院（盛雲院）及び観光駐車場

弘前藩は弘前城防衛のため津軽地方各地の寺院を、城下町に移転させました。当地にあった盛祥院(盛雲院)もその時、弘前城南西の長勝寺構(禅林街)へ移転し、今はその末寺が残っています。

ここは、観光駐車場としてご利用下さい。

【盛祥院（盛雲院）及び観光駐車場】



③乳井茶臼館

乳井福王寺氏の山城として築かれたとされます。三方に睨みをきかせた地形が、往時を偲ばせます。市の発掘調査により、腰曲輪等が確認されております。今は展望台になっております。

【乳井茶臼館跡】



【茶臼館案内板】



④自然ため池

元々あった自然のため池ですが、その後「里山のため池を守り、併せてホタル・トンボ生息保護地として環境美化に取り組む」というスローガンの元に、保護されているため池です（写真はドローンでの撮影です）。

【自然ため池】



⑤湧水地

この場所はほぼ谷の底に有り、周りからの湧水が集まる場所です。夏に他の場所が干上がっても、ここは干上がりません。

【湧水地】



下の写真は東側から、遠望したものです。乳井三遺跡を一望出来る場所から、撮影しました。

【乳井三遺跡遠望】



⑥桂清水

こちらも清水ですが、参道の境内手前があるので水を汲みに来る方も多く、手軽に採取できる場所です。

【桂清水】



⑦乳井神社(乳井福王寺)

乳井福王寺は承暦2年（1078）、白河天皇が「東夷調伏」のため毘沙門天を安置し、勅願によって開いたことに始まるとされます。「東奥無双の霊場」として、当初は乳井の古堂（茶臼館の南）に伽藍が有りましたが、後に乳井字外の沢の現在地に移ったとされます。当時この地を治めていたのは、猿賀深沙大権現の別当職も兼ねていた乳井氏で、乳井氏はいわば「宗教領主」としての性格も持っていました。（市指定有形文化財）

【乳井神社(乳井福王寺)】



※距離と所要時間：Aコース距離1,144m所要時間18分。Bコース距離1,958m所要時間32分。A・Bコース両方で、50分位かかります。（歩行時間のみ、概ねです。）